

ネットで消費動向調査

節約志向、出費メリハリ 記念日にはお金かける

節約しながらも、大事なときにはしっかり使いたい。福岡市のリサーチ会社「ジーコム生活行動研究所」は福岡県内の500人を対象に行った消費動向調査で、不況下で支出を抑えながら、身近な人との関係性を高める消費には積極的という傾向が明らかになった。

調査は4月下旬、福岡県内の20歳以上の男女500人にインターネットで行った。

商業施設の利用状況は「増えた」「やや増えた」の合計と「減った」「やや減った」の合計を比較。スーパーマーケット(20%増)やディスカウントストア(19%増)、ドラッグストア(14%増)など日用品を低価格で購入できる店舗の利用が増えている。

これに対し、居酒屋(1%減)やファミリーレス

トラ(38%減)など外食が大幅に減少。百貨店(30%減)やインターネット・家具・雑貨店(28%減)、家電店(15%減)など高額品や不要不急の商品を取り扱う商業施設も減少している。

一方、消費のメリハリに関する質問では「光熱・水道費」の65%を筆頭に、「携帯電話」「自動車関連」「食」などで回答者の40%以上が節約したいと答えているのに対し、「記念日の外食」「宿泊旅行」「趣味娯楽」「家族への贈り物」の4項目で、お金をかけたいと答えた人が「節約」を上回った。

自由回答の欄には「無駄なものを買わない」「安い時に買いためする」などが多い一方、「環境を考えると買う」「本物、自然志向」などの回答が目立った。

同社調査研究部の神崎依子マネジャーは「自分の価値観で、必要なものだけ買うというスタイルが広がりつつある。不況の影響というより消費者が成熟したため、長期的な傾向となるのでは」と分析している。